

製品・サービス動向-国内

■ヤマハ：ユニファイドコミュニケーション
マイクスピーカーシステム「YVC-1000MS」
を発売、すでに販売している「YVC-1000」
の「Skype for Business」向けマイクロソフ
ト認定モデル

(7月12日)

ヤマハ株式会社 (<http://jp.yamaha.com/>) (静岡県浜松市) は、ユニファイドコミュニケーションマイクスピーカーシステム「YVC-1000MS」を10月より全国で発売する。



YVC-1000MS (ヤマハ)

今回発売する YVC-1000MS は、中から大会議室マイクスピーカーシステムとして2014年5月に発売した「YVC-1000」の「Skype for Business」向けマイクロソフト認定モデルとなる。

YVC-1000MS の主な特長は以下の通り。

(1) Skype for Business に最適化された音響技術を搭載し、音質チューニングやマイクミュート連動などの仕様調整を行っている。

(2) Skype for Business の発着信時に操作可能な「コールボタン」を搭載し、マウスなどの操作をせずに着信や通話終了を行うことができる。

(3) 会議室のレイアウトや参加人数に合わせて、オプションの拡張マイク「YVC-MIC1000EX」を最大4台(合計5台)まで接続することができる。

(4) PA スピーカやハンドマイクと接続して広範囲をカバーし、遠隔での授業やセミナーを構築することが可能。

(5) 本体に NFC を搭載しているため、複雑な操作をしなくても、スマートフォンやタブレットと Bluetooth で接続し、手軽に Skype for Business を利用することができる。

(6) ヤマハ独自の音声処理技術を多数搭載。ストレスなく双方向会話ができる「適応型エコーキャンセラー」、ノイズを消して声だけを伝える「ノイズリダクション」、マイクに近い人と遠い人の音量を調節する「オートゲインコントロール」、声が響きやすい空間でもクリアに伝える「残響抑圧」、スピーカ再生音を聞き取りやすく調整する「オートルーム EQ」、発話者を自動で追尾する「マイクアレイ制御」などにより自然で快適な Skype for Business でのコミュニケーションを実現する。

ヤマハは、音と音楽で培った技術と感性をもとに、約10年に渡ってグローバルの UC 市場において、企業をはじめとする顧客ニーズに応じてきた実績を活かし、あらゆる会話のシーンにおいて自然でクリアな音声コミュニケーションを実現するために注力してきた。

今回 YVC-1000MS を発売することで、さまざまな規模のミーティング空間において、Skype for Business

ソリューションが持つ多様な可能性を最大限に引き出したいと考えている。

YVC-1000MS (色:黒色) の価格は 12 万円 (税抜)。汎用モデルの「YVC-1000」は並行販売を行う予定。

■プリンストン：「Cisco Spark Board」および「Cisco Spark Room Kit シリーズ」の取り扱いを開始

(6月30日)

株式会社プリンストン (<http://www.princeton.co.jp/>) (東京都千代田区) は、シスコシステムズ合同会社 (東京都港区) 製の「Cisco Spark Board」および「Cisco Spark Room Kit シリーズ」の取り扱いを開始する。



Cisco Spark Board 使用イメージ (プリンストン)

Cisco Spark Board は、ワイヤレスプレゼンテーション機能、デジタルホワイトボード機能、ビデオ会議を統合したコラボレーションデバイス。55 インチタッチパネルインターフェイス、4K カメラ、マイク、スピーカを搭載している。

ローカルの会議室での利用にとどまらず、Cisco Spark サービスを通じて、他の Cisco Spark Board や Cisco Spark アプリ対応デバイスとのビデオ会議・音声会議・ホワイトボード作成・コンテンツ共有を行える。また、Cisco Spark Board で作成したものはすべて Cisco Spark サービス内の関連付けられた仮想ルームに保存される形。チームメンバーは Cisco Spark アプリを利用して、どこにいても作業を行える。

Cisco Spark Room Kit シリーズは、高精細カメラ・コーデック・マイク・スピーカなどビデオ会議に必要なデバイスをワンボックスに収めたテレプレゼンス端末。H.323/SIP 準拠の端末とクラウドサービス上の仮想会議室への接続が可能となっている。加えて、内蔵カメラによる自動フレーミングやスピーカトラッキングのほか、4K コンテンツの共有をサポートしている。



Cisco Spark Room Kit (左)、Cisco Spark Room Kit Plus(右) (プリンストン)

Cisco Spark Room Kit は、1 台のデバイスに、コーデック・カメラ・マイクおよびスピーカを内蔵し、最大 7 名までの会議室に対応している。一方、Cisco Spark Room Kit Plus は、4 つのカメラ・マイクおよびスピーカを内蔵したクラウドカメラバーと独立したコーデックがセットとなり、最大 14 名の会議室まで対応している。

■パナソニック：ビデオ会議システム HD コム専用カメラ発売、広角 72.5°・光学 12 倍ズーム・天つりに対応、10 人から 20 人用大規模会議室、セミナー会場などで活用可能

(7月3日)

パナソニック株式会社 (<http://www.panasonic.com/jp/business.html>) (大阪府門真市) は、ビデオ会議システム「HD 映像コミュニケーションシステム (以下、HD コム)」専用カメラとして、広角 72.5°・光学 12 倍ズームを特長とし、天つり設置にも対応した「KX-VD170J」を 9 月より発売する。価格はオープン。

HD コム専用カメラのハイエンドモデルで、10 人か

ら 20 人を想定した大規模会議室での使用に適しているとしている。



HD映像コミュニケーションシステム専用カメラ KX-VD170J
2017年7月 パナソニック株式会社

HD 映像コミュニケーションシステム専用カメラ KX-VD170J (パナソニック)

広角 72.5° ・光学 12 倍ズームの搭載を両立することで、カメラ近くの座席を左右広範囲に映し出すことができるとともに、遠くに座っている人も画質劣化なく映し出すことができる。これにより、大規模会議室での使用や大きなセミナー会場あるいは研修施設においても、全体を映し出すこともピンポイントで映し出すこともでき、さまざまな空間で快適に HD コムを通じてコミュニケーションを行うことが可能になるとしている。

天つり設置に対応したことにより、会議室はもちろんのこと、セミナー会場や研修施設においても全体を俯瞰した映像を映し出すことができ、会場の雰囲気をもより把握しやすくなる。また、机やテーブルにカメラを設置する必要がないため、机上のスペースを有効に活用することができ、カメラ専用の設置台も不要になるなど、空間レイアウトの自由度を増すことができる。

PTZ 操作・プリセット登録・画質調整などのカメラ設定を HD コム本体付属の専用リモコンから制御できるようになっている。HD コム本体専用リモコンとカメラ専用リモコンを操作内容によって使い分ける煩雑さを省略できる。本製品の制御は HDMI ケーブルを介

して行っているため、他の制御用配線を接続することなく、HDMI ケーブルをつなげるだけで可能になる。

ビジネス動向-海外

■ポリコム：「Polycom RealPresence Group シリーズ」が「Office365 Microsoft Skype for Business Online」の認定を取得

(米国：6月12日、日本：7月12日)

ポリコム (<http://www.polycom.co.jp/>) (米国・カリフォルニア州) は、同社が販売する会議室用ビデオ会議ソリューション「Polycom RealPresence Group シリーズ」が「Office365 Microsoft Skype for Business Online」の認定を取得したことを発表。

今回認定を取得することでのユーザへのメリット。Office365 のユーザは、同環境内の Skype for Business 会議だけでなく、ポリコムの高品質な音声会議とビデオ会議製品を活用できるとともに、会議の開催方法についてより高い柔軟性およびより多くの選択肢を享受できる。一方、Polycom RealPresence Group シリーズを使用するユーザは、使い慣れた Skype for Business のユーザインターフェイスおよびワークフローをそのまま使用できるようになる。

ポリコムは、今後、会議室でネイティブな Skype for Business エクスペリエンスをユーザに提供する次世代の会議室用システム「Polycom MSR シリーズ」を開発する予定となっているが、たとえば、既存のシスコのビデオ会議端末を使用しているユーザは、シスコ・ポリコム・その他メーカーのビデオ会議端末を Skype for Business Online にシームレスに接続させるための「Polycom RealConnect for Office 365」を通して、Office 365 に接続することは現在でも可能だ。

ポリコムは、音声会議およびビデオ会議ソリューションの幅広いポートフォリオを有しており、マイクロソフトとの 14 年以上に渡る提携により、Skype for

Business・Office365・「Active Directory」・「Microsoft Exchange」などマイクロソフトプラットフォームと直接統合可能なソリューションを40以上提供している。今回の認定により、Office 365の会議エクスペリエンスをさらに強化することが可能になるとしている。

導入・利用動向-国内

■VTV ジャパン：香川大学向けに、複数組織からMCUを円滑に運営できる遠隔会議予約システム「URA」を構築

(7月6日)

VTV ジャパン株式会社(<https://www.vtv.co.jp/>) (東京都千代田区) は、国立大学法人 香川大学 (<http://www.kagawa-u.ac.jp/>) (香川県高松市) へ、多地点接続装置 (MCU) を複数組織から円滑に運営できる遠隔会議予約ソリューションの開発・納入を行ったと発表。

香川大学では2013年に設置された地域連携戦略室が中心となり、地域創生推進事業に取り組んでいる。四国地方の他の国立大学と共同事業を行う際に、ミーティングやシンポジウムなどでテレビ会議を活用する目的でMCUを導入したが、複数の組織がひとつのMCUを利用するにはさまざまな課題があった。

これらの課題を解決して円滑にテレビ会議を利用できるように、VTV ジャパンでは新たに遠隔会議予約システム「URA」を開発、香川大学の要望に沿ったソリューションを構築した。

香川大学 事例：

https://www.vtv.co.jp/casestudy/list/kagawa_u.html

PR

(広告掲載順)

■ヤマハ株式会社

USB スピーカーフォン FLX UC 500

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

■中古テレビ会議.com

テレビ会議システムをレンタルで!

Polycom/Sony/Cisco/Lifesize 対応

<http://chuko-tv-kaigi.com/?mode=f24?=cnar07152>

■株式会社ロジクール

MeetUp(ミートアップ) --

最大8人まで対応する、120度の視野と4K光学を実現する ConferenceCam

<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/product/meetup-conferencecam>

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報 (7月から9月)

「失敗しない「Web会議・テレビ会議」の選び方 働き方改革セミナー」「従来比1/3のコストで導入できる”V-CUBE Box 体験セミナー」「営業生産性を上げるワークスタイル変革セミナー」など

会場 (東京・大阪・名古屋・札幌など)

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■ワークスタイル変革 実践事例セミナー ～コミュニケーション・コラボレーション変革からはじめるワークスタイル変革～

日時:7月26日(金) 10:00～17:00

会場:リコージャパン株式会社 ViCreA 東京ショールーム
(東京都中央区)

主催:株式会社リコー

(オフィスサービス事業本部 商品戦略センター)

詳細・申込:

<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/17K188.html>

■Skype for Business ビジュアルコミュニケーション活用術セミナー

日時:8月23日(水)・24日(木)・25日(金)

各日 15:00～

会場:VTV ジャパン デモルーム (東京・大阪)

主催:VTV ジャパン株式会社

詳細・申込:<https://www.vtv.co.jp/seminar/1708vtv/>

国内その他:<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他:<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回(プレスリリースと取材に基づく記事)ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック (遠隔会議&UC トレンドワッチ)

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter (CNA レポート・ジャパン)

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト (dtc-forum)

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年:

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2017年:

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作:カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2017年7月15日号おわり

ホームページ:<http://cnar.jp> お問い合わせ:cnar@cnar.jp